



第78回トニー賞と アメリカのミュージカル

2025年1月11日

TONY Musical Fans' Club

「トニー賞をみんなで語ろう」

2025年 第78回トニー賞 ミュージカル部門

ミュージカルは全15部門、うち太字はミュージカル部門のビッグ6、青字はプレイと共通部門

- ① ミュージカル作品賞 (Best Musical)
Maybe Happy Ending
- ② ミュージカル脚本賞 (Best Book of a Musical)
Maybe Happy Ending
- ③ オリジナル楽曲賞 (Best Original Score Music and/or Lyrics)
Maybe Happy Ending
- ④ リバイバルミュージカル賞 (Best Revival of a Musical)
Sunset Blvd.
- ⑤ ミュージカル主演男優賞 (Best Performance by a Leading Actor in a Musical)
Darren Criss for **Maybe Happy Ending**
- ⑥ ミュージカル主演女優賞 (Best Performance by a Leading Actress in a Musical)
Nicole Scherzinger for **Sunset Blvd.**
- ⑦ ミュージカル演出賞 (Best Direction of a Musical)
Michael Arden for **Maybe Happy Ending**

2025年 第78回トニー賞 ミュージカル部門（つづき）

- ⑧ ミュージカル助演男優賞 (Best Performance by a Featured Actor in a Musical)
Jak Malone for Operation Mincemeat
- ⑨ ミュージカル助演女優賞 (Best Performance by a Featured Actress in a Musical)
Natalie Venetia Belcon for Buena Vista Social Club
- ⑩ ミュージカル装置デザイン賞 (Best Scenic Design in a Musical)
Dane Laffrey and George Reeve for Maybe Happy Ending
- ⑪ ミュージカル衣装デザイン賞 (Best Costume Design in a Musical)
Paul Tazewell for Death Becomes Her
- ⑫ ミュージカル照明デザイン賞 (Best Lighting Design in a Musical)
Jack Knowles for Sunset Blvd.
- ⑬ ミュージカル音響デザイン賞 (Best Sound Design of a Musical)
Jonathan Deans for Buena Vista Social Club
- ⑭ 振付賞 (Best Choreography)
Patricia Delgado and Justin Peck for Buena Vista Social Club
- ⑮ 編曲賞 (Best Orchestrations)
Marco Paguia for Buena Vista Social Club

今年の作品賞

ブロードウェイのこの1年間の新作は順に以下の14作品。日本に比べると案外少ないでしょうか。その中から赤字の5作品が作品賞にノミネートされました。中でも②⑤⑦の3作品は10部門でノミネートされ激戦となりました。一方ではオープニング翌朝の主要新聞の劇評で叩かれるとチケットが売れず、撤退に追い込まれます。①③④の3作品は早々に打ち切られ、⑥も惨敗でした。トニー賞の結果は集客に明確に表れ(この資料の21ページ以降参照)、ノミネートに届かなかった⑩⑪⑬、部門でノミネートされた⑭や⑨も閉幕を発表。制作に5~10年掛かり、制作費は20億円以上と言われます。それだけトニー賞と劇評家のレビューは重要な位置を占めています。
(劇評はbroadwayworld.comによる主要紙の平均で10点満点、集客率はplaybill.com)

[新作]

① A Wonderful World: The Louis Armstrong Musical

ジャズ生みの親のルイ・アームストロングの物語、低評価で集客率73.7%、3カ月で閉幕

初日	劇評	クローズ
11/11	5.87	2/23

② Maybe Happy Ending (作品賞受賞)

韓国作品がブロードウェイ進出、ソウルのアパートで出会った使用済みの男女のロボット

11/12	8.92	公演中
-------	------	-----

③ Elton John's Tammy Faye

作曲エルトン・ジョン、女性TV伝道師の伝記、低評価で集客45.6%、1カ月で打切り

11/14	3.08	12/8
-------	------	------

④ Swept Away

難破船で生き延びた船乗り、「恐怖と威嚇を感じる」と酷評され集客率83.3%、48公演で打切り

11/19	6.82	12/29
-------	------	-------

⑤ Death Becomes Her (作品賞ノミネート)

1992年のコメディ映画「永遠に美しく...」をミュージカル化、メーガン・ヒルティ主演

11/21	8.05	公演中
-------	------	-----

今年の作品賞(つづき)

初日	劇評	クローズ
2/13	5.06	5/18
3/19	8.64	公演中
3/20	7.83	公演中
4/5	6.92	7/13
4/8	7.31	6/29
4/10	6.35	6/22
4/26	7.53	公演中
4/27	7.79	6/29
4/27	8.44	6/29

⑥ Redwood

イディーナ・メンゼル主演、ノミネート得られず当初の8/17までを急遽打ち切り

⑦ Buena Vista Social Club (作品賞ノミネート)

キューバのサルサ音楽の楽団の実話、共産主義革命と40年後、楽曲はスペイン語

⑧ Operation Mincemeat (作品賞ノミネート)

第二次世界大戦でのイギリス軍対ナチス・ドイツの戦い、ウエストエンドからブロードウェイ進出

⑨ Boop! The Musical

1930年台のアメリカ・ジャズ・エイジの漫画ベティ・ブープをミュージカル化

⑩ Stephen Sondheim's Old Friends

バーナデット・ピーターズとレア・サロンガがソンドハイムを歌うレビューショー

⑪ Smash

2012年のTVドラマ、マリリン・モンローがテーマ、トニー賞後クローズを発表

⑫ Just in Time

伝説の歌手ボビー・ダーリンのjukebox musical、主演は昨年トニー賞のジョナサン・グロフ

⑬ Real Women Have Curves

1987年のストレートプレイ(2002年には映画化も)をミュージカル化、移民女性の勇気と夢

⑭ Dead Outlaw (作品賞ノミネート)

デビッド・ヤズベックの新作、65年間全米を彷徨い続けたミイラ、エルマー・マッカーディの実話

今年の作品賞(つづき)

□ **Maybe Happy Ending**が作品賞を含む6部門で受賞

出演者わずか4人で100分1幕の小品

ノミネート10部門のうち**作品賞、脚本賞、楽曲賞、主演男優賞、演出賞、装置デザイン賞**の6部門で受賞、ビッグ6部門では5部門(上記太字)で受賞する圧勝となった
主演は男優(ダレン・クリス)がフィリピン系、女優(ヘレン・シェン)は中国系で
いずれもアジア系の役者が演じた(ダレン・クリスは主演男優賞)

2014年に韓国で制作が開始され、2016年にソウルで初演、2020年には日本で日本人キャストでも公演され、ブロードウェイ進出には10年かかっている

□ **Buena Vista Social Club**は4部門

ノミネート10部門のうち助演女優賞、音響デザイン賞、振付賞、編曲賞の4部門受賞
更に舞台上でサルサを演奏する演奏者10人に特別賞が授与された
助演女優賞を獲得していますが主演の俳優は存在せず演奏者が主役と言える

□ **Death Becomes Her**は1部門

制作費に31.5百万ドル(約46億円)かけた伝統的なスタイルの大型ミュージカル、
名の通った俳優を起用し出演者総勢30人で歌とダンスを豪華な衣装と舞台装置で
見せる笑いと涙のストーリー、衣装デザイン賞を受賞

□ 多様性の評価

非白人国、非英語圏のアジア作品が初のトップの評価を得た歴史的な年となった
(これまでウィーンミュージカルからの進出でも2002年の1作品、56公演のみ)

今年のリバイバル賞

オープニングを迎えたのは以下の7作品。**赤字**で示した4作品がベスト・リバイバルのノミネートを受けました。なお、リバイバルは脚本、楽曲は基本的に初演と同じですが、プロデューサー(制作)、演出、編曲、各デザイン、役者は全く異なり、日本の数年ごとの再演とは意味が異なります。リバイバルでもロングランになることもあります、現在28年目のChicagoはリバイバル作品です。

[リバイバル]

① Once Upon a Mattress

初演1959年、サットン・フォスター主演で期間限定リバイバル

初日	劇評	クローズ
8/12	7.67	11/30

② Sunset Boulevard (リバイバル賞受賞)

初演1994年のアンドリュー・ロイド・ウェバーの旧作、当初よりトニー賞終了後に閉幕予定

10/20	7.14	7/20
-------	-------------	------

③ Elf

2003年の同名映画からのクリスマス期間限定のリバイバル

11/17	6.50	1/4
-------	------	-----

④ Gypsy (リバイバル賞ノミネート)

初演1959年、トニー賞最多受賞(6回)のオードラ・マクドナルドが主演

12/19	8.35	7/18
-------	-------------	------

⑤ The Last Five Years

2002年オフ・ブロードウェイ作品、夢を追う恋人同士の5年間、2014年に映画化もされた

4/6	5.22	6/22
-----	------	------

⑥ Floyd Collins (リバイバル賞ノミネート)

初演1994年、洞窟を観光地にしようとしたが地中で事故が起こる、アメリカンドリームの実話

4/21	7.41	6/22
------	-------------	------

⑦ Pirates! The Penzance Musical (リバイバル賞ノミネート)

古典「ペンザンスの海賊」コミックオペラのリバイバル、ラミン・カリムルー主演、当初より7/27まで

4/24	7.83	7/27
------	-------------	------

今年のトニー賞の傾向

□ 有名俳優が出演する作品が相次ぎ落選

今年はノミネート段階から有名俳優が出演する作品の落選が相次いだ

■ 新作

イディーナ・メンゼル主演の*Red Wood*が全くノミネートされず、メーガン・ヒルティ主演の*Death Becomes Her*が10部門でノミネートされるも*Maybe Happy Ending*、*Buena Vista Social Club*の後塵を拝した

■ リバイバル

サットン・フォスター主演の*Once Upon a Mattress*がノミネートから外れた
ノミネートされた中ではトニー賞6冠のオードラ・マクドナルドの*Gypsy*が劇評からも最有力と思われたが、結果は*Sunset Blvd.*がリバイバル賞、主演女優賞(ニコール・シャージンガー)、照明デザイン賞の3部門で受賞
ラミン・カリムルー主演の*Pirates!*もノミネートどまりとなった

■ ストレートプレイの主演男優・女優賞（詳細は記載していません）

映画界で人気のジョージ・クルーニー(*Good Night, and Good Luck*)とミア・ファーロウ(*The Roommate*)もノミネートのみで受賞に至らず
デンゼル・ワシントン(*Othello*)はノミネートもされず
主演男優賞を受賞したコール・エスコーラは*Oh, Mary!*でリンカーン大統領の妻を演じ、ノン・バイナリーを自称している

□ 新たな人材の活躍

新たな世代の多様な活躍が評価され、新たな時代を予感させるトニー賞となった

[再録] トニー賞(Tony Awards)とは

□ トニー賞

第二次世界大戦後の1947年にAmerican Theatre Wingにより優れた舞台芸術を表彰することを目的として設立された

名称は第二次世界大戦中にAmerican Theatre Wingの優れたリーダーで、女優、演出家、制作者であったアントワネット(トニー)・ペリー女史に由来

□ American Theatre Wing

第一次世界大戦前夜の1917年に7人の女性民権運動家による戦時支援部としてニューヨークで創設され、以後100年以上にわたり舞台芸術を通じて社会に感動の機会を提供し、個人の尊重、文化の発展に努めている非営利団体

□ 現在の運営委員会：以下の1)、2)から10人ずつ、3)～4)から1人ずつ、計24人

- 1) American Theatre Wing (演劇の発展への財政、教育支援を行う)
- 2) Broadway League (劇場主、興行主、設備等サプライヤーの団体)
- 3) Dramatists Guild Inc (作家組合)
- 4) Actors' Equity Association (俳優組合)
- 5) United Scenic Artists (デザイナー、大道具、小道具製作者組合)
- 6) Stage Directors and Choreographers Society (演出家、振付家組合)

[再録] トニー賞とは (つづき)

- ノミネート委員会
運営委員会が15人～62人の範囲で指名、毎年1/3ずつ交代
- 投票人
前記1)～6)に加え7)～11)の役員、理事の約830人(年により異なる)が電子投票
7) Theatrical Council of Casting Society (俳優キャスティング評議会)
8) Musicians' League 802 (演奏家組合)
9) Association of Theatrical Press Agents (演劇ジャーナリスト協会)
10) New York Drama Critics Circle (ニューヨーク劇評家団体)
11) National Association of Talent Representatives (全米俳優代理人組合)
投票結果は外部の公認会計事務所で開票、内訳は開示されない
- 対象作品
4月下旬の定められた期日までの1年間にブロードウェイの41劇場でオープニングを迎えた作品、リバイバルは以前の作品と照らし合わせて対象とするかどうか判断する、休演を経て繰り返し上演される作品等は対象とならない
授賞式は6月第2日曜に行われる

出典 The Tony Awards® Rules and Regulations 2023-2024 ほか

歴代ミュージカル作品賞

演目名の後の○-○はトニー賞受賞とノミネートの数、年月は上演期間でプレビューは除く、#○はロングランの歴代ランキングで連續1000回公演以上、**作品名**が太字は現在も上演中、**赤字**は筆者が注目 末尾は日本語公演制作会社(プロデューサー)

- 2025年 **Maybe Happy Ending** 6-10、2025年2月～ 東宝(ブロードウェイ版は日本未公開)
- 2024年 **The Outsiders** 4-12、2024年4月～ (日本未公開)
- 2023年 **Kimberly Akimbo** 1-9、2022年9月～ (日本未公開)
- 2022年 **A Strange Loop** 2-11、2022年4月～2023年1月 (日本未公開)
- 2021年 (コロナ禍で中止)
- 2020年 **Moulin Rouge!** 4-14、2019年7月～、#76 東宝
- 2019年 **Hadestown** 8-14、2019年4月～ (日本未公開)
- 2018年 **The Band's Visit** 10-11、2017年11月～2019年4月 ホリプロ
- 2017年 **Dear Evan Hansen** 6-9、2016年12月～2022年9月、#48 (日本未公開)
- 2016年 **Hamilton** 11-16、2015年8月～、#21 (日本未公開)
- 2015年 **Fun Home** 5-12、2015年3月～2016年9月 東宝
- 2014年 **A Gentleman's Guide to Love & Murder** 4-10、2013年11月～2016年1月 東宝/ホリプロ
- 2013年 **Kinky Boots** 6-13、2001年4月～2007年4月、#28 アミューズ
- 2012年 **Once** 8-11、2012年3月～2015年1月、#96 東宝

歴代ミュージカル作品賞（つづき）

- 2011年 **The Book of Mormon** 9-14、2011年3月～、#11 (日本未公開)
- 2010年 **Memphis** 4-8、2009年10月～2012年8月、#97 ホリプロ
- 2009年 **Billy Elliot** 10-15、2008年11月～2012年1月、#79 ホリプロ
- 2008年 **In The Heights** 4-13、2008年3月～2011年1月、#94 アミューズ
- 2007年 **Spring Awakening** 8-11、2006年10月～2009年1月 四季
- 2006年 **Jersey Boys** 4-8、2005年11月～2017年1月、#13 東宝
- 2005年 **Monty Python's Spamalot** 3-14、2005年3月～2009年1月、#55 エイペックス
- 2004年 **Avenue Q** 3-6、2003年1月～2009年9月、#26 (来日公演のみ)
- 2003年 **Hairspray** 7-13、2002年8月～2009年1月、#24 東宝
- 2002年 **Thoroughly Modern Millie** 6-11、2002年4月～2004年6月 東宝
- 2001年 **The Producers** 12-15、2001年4月～2007年4月、#28 東宝
- 2000年 **Contact** 4-7、2000年3月～2002年9月、#121 四季
- 1999年 **Fosse** 3-8、1999年1月～2001年8月、#108
- 1998年 **The Lion King** 6-11、1997年11月～、#3 四季
- 1997年 **Titanic** 5-5、1997年4月～1999年3月 梅芸
- 1996年 **Rent** 4-10、1996年4月～2008年9月、#12 東宝

歴代ミュージカル作品賞（つづき）

- 1995年 Sunset Boulevard 7-11、1994年～1997年 ホリプロ
- 1994年 Passion 4-10、1994年5月～1995年1月 新国立
- 1993年 Kiss of the Spider Woman 7-11、1993年5月～1995年7月 ホリプロ
- 1992年 Crazy for You 3-9、1992年2月～1996年1月、#52 四季
- 1991年 The Will Rogers Follies 6-11、1991年5月～1993年9月
- 1990年 City of Angels 6-11、1989年11月～1992年1月 ホリプロ
- 1989年 Jerome Robbins' Broadway 6-10、1989年2月～1990年9月
- 1988年 The Phantom of the Opera 7-10、1988年1月～2023年4月、#1 四季
- 1987年 Les Misérables 8-12、1987年3月～2003年5月、#6 東宝
- 1986年 The Mystery of Edwin Drood 5-11、1985年12月～1987年5月
- 1985年 Big River 7-10、1985年4月～1987年9月 ホリプロ
- 1984年 La Cage aux Folles 6-9、1993年8月～1987年11月 東宝
- 1983年 Cats 7-11、1982年10月～2000年10月、#5 四季
- 1982年 Nine 5-12、1982年5月～1984年9月 TBS
- 1981年 42nd Street 2-8、1980年8月～1989年1月、#16 東宝
- 1980年 Evita 7-11、1979年9月～1983年6月、#57 四季

歴代ミュージカル作品賞（つづき）

- 1979年 Sweeney Todd 8-9、1979年3月～1980年6月 ホリプロ
- 1978年 Ain't Misbehavin' 3-5、1978年5月～1982年2月、#53
- 1977年 Annie 7-10、1977年4月～1983年1月、#30 東宝
- 1976年 A Chorus Line 9-12、1975年7月～1990年4月、#7 四季
- 1975年 The Wiz 7-8、1975年1月～1979年1月、#48 PARCO
- 1974年 Raisin 2-9、1973年10月～1975年12月
- 1973年 A Little Night Music 6-12、1973年2月～1974年8月 東宝
- 1972年 Two Gentlemen of Verona 2-9、1971年12月～1972年6月 四季、東宝
- 1971年 Company 6-14、1970年4月～1972年1月 TBS
- 1970年 Applause 4-11、1970年3月～1972年5月 四季、ピュアーマリー
- 1969年 1776 3-6、1969年3月～1972年2月、#90
- 1968年 Hallelujah, Baby! 5-9、1967年4月～1968年1月
- 1967年 Cabaret 8-10、1966年11月～1969年9月、#97 (不明)
- 1966年 Man of La Mancha 5-7、1965年11月～1971年1月、#32 東宝
- 1965年 Fiddler on the Roof 9-10、1964年9月～1972年7月、#18 東宝
- 1964年 Hello, Dolly! 10-11、1964年1月～1970年12月、#22 富山市民文化事業団

歴代ミュージカル作品賞（つづき）

- 1963年 A Funny Thing Happened on the Way to the Forum 6-8、1962年5月～1964年8月
- 1962年 How to Succeed in Business Without Really Trying 7-8、1961年10月～
1965年3月、#72 宝塚、東京グローブ座
- 1961年 Bye, Bye Birdie 4-8、1960年4月～1961年10月 アミューズ
- 1960年 The Sound of Music 5-9、1959年11月～1963年6月、#70 四季、宝塚
Fiorello! 3-7、1959年11月～1961年5月
- 1959年 Redhead 6-7、1959年2月～1960年3月
- 1958年 The Music Man 5-9、1957年11月～1961年4月、#74 東宝
- 1957年 My Fair Lady 6-10、1956年3月～1962年9月、#23 東宝
- 1956年 Damn Yankees 7-9、1955年5月～1957年10月、#119 フジTV
- 1955年 The Pajama Game 3-3、1954年5月～1956年11月、#114 梅芸
- 1954年 Kismet 3-3、1953年12月～1954年5月
- 1953年 Wonderful Town 5-5、1953年2月～1954年7月 梅芸
- 1952年 The King and I 5-5、1951年3月～1954年3月、#86 東宝
- 1951年 Guys and Dolls 5-5、1950年11月～1953年11月、#93 宝塚、東宝
- 1950年 South Pacific 10-10、1949年4月～1954年1月、#38 東宝
- 1949年 Kiss Me Kate 5-5、1948年12月～1951年7月、#110 東宝
- 1947年～1948年 ミュージカル作品賞の設定なし

作品賞を逃した主な作品とロングラン

#○はロングランの歴代順位、**作品名**太字は現在上演中

2017年 **Come from Away** 1-7、2017年3月～2022年10月、#50 ホリプロ

2014年 **Aladdin** 1-5、2014年3月～、#15 四季

Beautiful 2-7、2014年1月～2019年10月、#29 東宝

2007年 **Mary Poppins** 1-7、2006年11月～2013年3月、#25 ホリプロ

2004年 **Wicked** 3-10、2003年10月～、#4 四季

2002年 **Mamma Mia!** 0-5、2001年10月～2015年9月、#9 四季

2000年 **Aida** 4-5、2000年3月～2004年9月、#40 四季

1998年 **Cabaret**(revival) 4-10(最優秀Revival含む)、1998年3月～2004年1月、#30 ホリプロ、PARCO
Ragtime 4-12、1998年1月～2000年1月 東宝

1997年 **Chicago**(revival) 6-8(最優秀revival含む)、1996年11月～、#2 東宝、宝塚
Jekyll & Hyde 0-4、1997年4月～2001年1月、#61 東宝

1994年 **Beauty and the Beast** 1-9、1994年4月～2007年7月、#10 四季

1991年 **Miss Saigon** 3-10、1991年4月～2001年1月、#14 東宝

1982年 **Dreamgirls** 6-11、1981年12月～1985年8月、#64 梅芸

1977年 **Oh! Calcutta** 0-0、1976年9月～1989年8月、#8 (Revueとしては最長記録)

1972年 **Jesus Christ Superstar** 0-5、1971年10月～1973年6月 四季

1958年 **West Side Story** 2-6、1957年9月～1959年6月 宝塚、四季

授賞式の歴代司会者

	Date	Host(s)
78th	2025/6/8	Cynthia Erivo
77th	2024/6/16	Ariana DeBose
76th	2023/6/11	<i>ditto</i>
75th	2022/6/12	<i>ditto</i>
74th	2021/9/26 2020/3/12 ~	Audra McDonald, Leslie Odom Jr. <i>dark due to Covid</i>
73rd	2019/6/9	James Corden
72nd	2018/6/10	Sara Bareilles, Josh Groban
71st	2017/6/11	Kevin Spacey
70th	2016/6/12	James Corden
69th	2015/6/7	Kristin Chenoweth, Alan Cumming
68th	2014/6/8	Hugh Jackman
67th	2013/6/9	Neil Patrick Harris
66th	2012/6/10	<i>ditto</i>
65th	2011/6/12	<i>ditto</i>
64th	2010/6/13	Sean Hayes
63rd	2009/6/7	Neil Patrick Harris
62nd	2008/6/15	Whoopi Goldberg
61st	2007/6/10	<i>no host</i>
60th	2006/6/11	<i>ditto</i>
59th	2005/6/5	Hugh Jackman
58th	2004/6/6	<i>ditto</i>
57th	2003/6/8	<i>ditto</i>

授賞式の歴代司会者（つづき）

	Date	Host(s)
56th	2002/6/2	Bernadette Peters, Gregory Hines
55th	2001/6/3	Nathan Lane, Matthew Broderick
54th	2000/6/4	Rosie O'Donnell, Nathan Lane
53rd	1999/6/6	no formal host
52nd	1998/6/7	Rosie O'Donnell
51st	1997/6/1	<i>ditto</i>
50th	1996/6/2	Nathan Lane
49th	1995/6/4	Nathan Lane, Glenn Close, Gregory Hines
48th	1994/6/12	Anthony Hopkins, Amy Irving
47th	1993/6/6	Liza Minnelli
46th	1992/5/31	Glenn Close
45th	1991/6/2	Julie Andrews, Jeremy Irons
44th	1990/6/3	Kathleen Turner
43rd	1989/6/4	Angela Lansbury
42nd	1988/6/5	<i>ditto</i>
41st	1987/6/7	<i>ditto</i>
40th	1986/6/1	<i>no host</i>
39th	1985/6/2	<i>ditto</i>
38th	1984/6/3	Julie Andrews, Robert Preston
37th	1983/6/5	Richard Burton, Lena Horne, Jack Lemmon
36th	1982/6/6	Tony Randall
35th	1981/6/7	Ellen Burstyn, Richard Chamberlain

授賞式の歴代司会者（つづき）

	Date	Host(s)
34th	1980/6/8	Mary Tyler Moore, Jason Robards
33rd	1979/6/3	Jane Alexander, Henry Fonda, Liv Ullmann
32nd	1978/6/4	<i>no host</i>
31st	1977/6/5	Jack Albertson, Bea Arthur, Buddy Ebsen, Damon Evans, Jean Stapleton, Leslie Uggams
30th	1976/4/18	Eddie Albert, Richard Burton, Jane Fonda, Diana Rigg George C. Scott, Trish Van Devere
29th	1975/4/20	Larry Blyden, George S. Irving, Larry Kert, Carol Lawrence, Michele Lee, Bernadette Peters Bobby Van
28th	1974/4/21	Peter Falk, Florence Henderson, Robert Preston Cicely Tyson
27th	1973/3/25	Rex Harrison, Celeste Holm
26th	1972/4/23	Henry Fonda, Deborah Kerr, Peter Ustinov
25th	1971/3/28	Lauren Bacall, Angela Lansbury, Anthony Quayle Anthony Quinn
24th	1970/4/19	Julie Andrews, Shirley MacLaine, Walter Matthau
23rd	1969/4/20	Diahann Carroll, Alan King
22nd	1968/4/21	Angela Lansbury, Peter Ustinov
21st	1967/3/26	Mary Martin, Robert Preston
20th	1966/6/16	George Abbott, Ginger Rogers
19th	1965/6/13	Tom Bosley, José Ferrer, Van Johnson

授賞式の歴代司会者（つづき）

	Date	Host(s)
18th	1964/5/24	Sidney Blackmer
17th	1963/4/28	Abe Burrows, Robert Morse
16th	1962/4/29	Ray Bolger, Robert Preston
15th	1961/4/16	Phil Silvers
14th	1960/4/24	Eddie Albert
13th	1959/4/12	Bud Collyer
12th	1958/4/13	<i>ditto</i>
11th	1957/4/21	<i>ditto</i>
10th	1956/4/1	Jack Carter
9th	1955/3/27	Helen Hayes
8th	1954/3/28	James Sauter
7th	1953/3/29	Faye Emerson
6th	1952/3/30	Helen Hayes
5th	1951/3/25	James Sauter
4th	1950/4/9	<i>no host</i>
3rd	1949/4/24	Brock Pemberton, James Sauter
2nd	1948/3/28	Bert Lytell, Hiram Sherman, Harry Hirshfield
1st	1947/4/6	Brock Pemberton

授賞式は初期はラジオ中継、1958年からローカルテレビ局による放映を開始
1978年からCBSによる全米中継を開始

週間の観客数、チケット価格とチケット収入

(トニー賞翌週 2025年6月9日～15日、毎週開示されている)

SHOW ▾	THIS WEEK GROSS POTENTIAL GROSS	DIFF \$	Avg Ticket Top Ticket	Seats Sold Seats in Theatre	Perfs Previews	% Cap	Diff % Cap
& JULIET STEPHEN SONDHEIM THEATRE	\$861,541.50	\$39,210.70	\$112.62 \$324.00	7,650 1,026	8 0	93.20%	1.53%
ALADDIN NEW AMSTERDAM THEATRE	\$1,402,256.00	\$115,307.50	\$104.90 \$225.50	13,368 1,727	8 0	96.76%	1.36%
BOOP! THE MUSICAL BROADHURST THEATRE	\$512,749.85	-\$41,445.55	\$71.77 \$297.00	7,144 1,137	8 0	78.54%	-7.01%
BUENA VISTA SOCIAL CLUB GERALD SCHOENFELD THEATRE	\$1,288,995.46	\$62,114.11	\$154.39 \$447.00	8,349 1,049	8 0	99.49%	-0.02%
CABARET AUGUST WILSON THEATRE	\$762,715.26	\$96,546.36	\$103.42 \$299.00	7,375 1,070	8 0	86.16%	10.10%
CALL ME IZZY STUDIO 54	\$464,524.25	\$47,765.25	\$100.76 \$377.50	4,610 936	4 3	70.36%	-5.51%
CHICAGO AMBASSADOR THEATRE	\$541,402.10	\$29,659.95	\$97.94 \$237.00	5,528 1,080	8 0	63.98%	2.63%
DEAD OUTLAW LONGACRE THEATRE	\$449,665.50	-\$54,040.90	\$77.32 \$297.00	5,816 1,048	8 0	69.37%	-10.76%
DEATH BECOMES HER LUNT-FONTANNE THEATRE	\$1,328,948.90	-\$18,974.95	\$120.31 \$299.00	11,046 1,491	8 0	92.61%	-7.28%

週間の観客数、チケット価格とチケット収入（つづき）

SHOW ▾	THIS WEEK GROSS POTENTIAL GROSS	DIFF \$	AVG TICKET TOP TICKET	SEATS SOLD SEATS IN THEATRE	PERFS PREVIEWS	% CAP	DIFF % CAP
FLOYD COLLINS VIVIAN BEAUMONT THEATER	\$496,211.00	-\$11,737.00	\$73.80 \$277.00	6,724 1,057	8 0	79.52%	2.96%
GLENGARRY GLEN ROSS PALACE THEATRE	\$2,265,261.40	-\$92,838.00	\$225.09 \$799.00	10,064 1,306	8 0	96.32%	1.99%
GYPSY MAJESTIC THEATRE	\$1,064,455.02	\$21,668.94	\$109.57 \$397.00	9,715 1,590	8 0	76.38%	6.99%
HADESTOWN WALTER KERR THEATRE	\$730,081.00	-\$26,670.00	\$104.87 \$0.00	6,962 918	8 0	94.80%	-2.18%
HAMILTON RICHARD RODGERS THEATRE	\$2,062,452.00	\$76,148.00	\$193.86 \$325.00	10,639 1,324	8 0	100.44%	1.10%
HARRY POTTER AND THE CURSED CHILD LYRIC THEATRE	\$1,044,239.35	\$105,521.35	\$102.31 \$239.00	10,207 1,622	8 0	78.66%	-3.96%
HELL'S KITCHEN SAM S. SHUBERT THEATRE	\$911,247.05	\$26,909.95	\$89.38 \$297.00	10,195 1,457	8 0	87.47%	3.49%
JOHN PROCTOR IS THE VILLAIN BOOTH THEATRE	\$850,665.95	\$77,177.05	\$134.71 \$405.00	6,315 772	8 0	102.25%	-0.21%
JUST IN TIME CIRCLE IN THE SQUARE THEATRE	\$1,271,350.00	\$23,588.00	\$224.14 \$574.50	5,672 690	8 0	102.75%	-0.57%
MAYBE HAPPY ENDING BELASCO THEATRE	\$1,236,230.05	\$76,686.65	\$154.90 \$475.00	7,981 973	8 0	102.53%	0.20%

週間の観客数、チケット価格とチケット収入（つづき）

SHOW ▾	THIS WEEK GROSS POTENTIAL GROSS	DIFF \$	AVG TICKET TOP TICKET	SEATS SOLD SEATS IN THEATRE	PERFS PREVIEWS	% CAP	DIFF % CAP
MJ THE MUSICAL NEIL SIMON THEATRE	\$1,217,117.50	\$72,619.50	\$122.71 \$269.00	9,919 1,387	8 0	89.39%	3.83%
MOULIN ROUGE! THE MUSICAL AL HIRSCHFELD THEATRE	\$879,631.00	-\$640.80	\$92.18 \$0.00	9,543 1,300	8 0	91.76%	0.39%
OH, MARY! LYCEUM THEATRE	\$1,354,840.50	\$152,053.00	\$189.22 \$425.00	7,160 895	8 0	100.00%	0.00%
OPERATION MINCEMEAT JOHN GOLDEN THEATRE	\$763,400.20	-\$12,246.90	\$122.65 \$325.00	6,224 790	8 0	98.48%	-1.12%
PIRATES! THE PENZANCE MUSICAL TODD HAIMES THEATRE	\$502,279.50	\$34,209.50	\$93.60 \$342.00	5,366 727	8 0	92.26%	2.73%
PURPOSE HELEN HAYES THEATER	\$636,380.60	\$101,331.70	\$138.52 \$380.00	4,594 581	8 0	98.84%	0.97%
REAL WOMEN HAVE CURVES JAMES EARL JONES THEATRE	\$365,252.18	-\$49,179.87	\$68.63 \$275.00	5,322 1,055	8 0	63.06%	-9.00%
SIX: THE MUSICAL LENA HORNE THEATRE	\$678,666.00	\$55,293.75	\$103.60 \$269.00	6,551 1,031	8 0	79.43%	6.82%
SMASH IMPERIAL THEATRE	\$576,305.95	-\$79,855.35	\$85.35 \$297.00	6,752 1,411	7 0	68.36%	1.88%
STEPHEN SONDHEIM'S OLD FRIENDS SAMUEL J. FRIEDMAN THEATRE	\$450,995.00	-\$59,707.00	\$99.34 \$400.00	4,540 643	8 0	88.26%	-0.97%

週間の観客数、チケット価格とチケット収入（つづき）

SHOW ▾	THIS WEEK GROSS POTENTIAL GROSS	DIFF \$	Avg Ticket Top Ticket	Seats Sold Seats in Theatre	Perfs Previews	% Cap	Diff % Cap
STRANGER THINGS: THE FIRST SHADOW MARQUIS THEATRE	\$1,016,176.00	\$124,387.00	\$95.24 \$281.00	10,670 1,594	8 0	83.67%	5.49%
SUNSET BOULEVARD ST. JAMES THEATRE	\$1,665,761.90	\$404,548.19	\$137.91 \$0.00	12,079 1,648	8 0	91.62%	2.80%
THE BOOK OF MORMON EUGENE O'NEILL THEATRE	\$823,122.35	\$31,945.80	\$105.27 \$269.00	7,819 1,066	8 0	91.69%	1.93%
THE GREAT GATSBY BROADWAY THEATRE	\$1,066,299.85	\$10,261.45	\$98.20 \$277.00	10,858 1,485	8 0	91.40%	0.58%
THE LAST FIVE YEARS HUDSON THEATRE	\$480,934.20	\$36,214.20	\$74.51 \$425.00	6,455 968	9 0	74.09%	4.59%
THE LION KING MINSKOFF THEATRE	\$2,086,946.75	\$84,479.00	\$156.34 \$259.00	13,349 1,696	8 0	98.39%	-0.23%
THE OUTSIDERS BERNARD B. JACOBS THEATRE	\$1,246,335.60	\$29,626.65	\$149.96 \$497.00	8,311 1,024	8 0	101.45%	0.17%
THE PICTURE OF DORIAN GRAY MUSIC BOX THEATRE	\$1,508,381.44	\$140,594.34	\$213.56 \$597.00	7,063 995	7 0	101.41%	0.06%
WICKED GERSHWIN THEATRE	\$2,341,054.00	-\$72,751.00	\$151.94 \$352.00	15,408 1,926	8 0	100.00%	0.00%

出典 Playbill® <https://playbill.com/Grosses/>

[再録] ブロードウェイの楽しみ方

□ 客層

米国内と欧州からの白人富裕層の旅行客が7割（カップル、友人、ファミリーを中心）
旅程に合わせ演目と座席を選びチケットを購入（リピーターは少ない）

□ チケットの購入

インターネットで座席表を見ながら購入（先の日程を選べば最前列も購入できる）
チケットはペーパーレスでスマートフォンに表示

□ 役者

舞台芸術は全米の高校の授業カリキュラムに含まれ、成績優秀者は全米の総合大学の芸術学部に他学部とのダブルメジャーで進学、その優秀者がブロードウェイのオーディションを目指す（役者の裾野は広く大学卒が大半、全米に地方劇場もある）

役者は俳優労働組合（Actors' Equity Association）への加入が義務付けられ、身分証明、労働契約、最低賃金保障、健康保険、年金積立等が付与される

自分の判断で交渉代理人を雇う（芸能プロダクションはなく、ファンクラブもない）

作品制作には5年から長いもので10年かかると言われ、オープニングを迎えるとロングランが基本で、役者は最低でも半年の契約が基本になっている

役者は1年のうちに複数の作品に契約することはほぼない、ダブルキャストも役者の負担が高い場合（特にソプラノ）を除きなく、週8回舞台に立つ（通常月曜のみ休演）

[再録] ブロードウェイの楽しみ方（つづき）

□ 劇評家(マスコミ)と作品の関係

劇評家は大学院で舞台芸術の博士課程を取得した専門家であり、中立を維持するために正式オープニング（レッドカーペット）の前に作品に接触することはない

劇評はオープニング翌朝の新聞に一斉に署名入りで掲載されチケットの売れ行きが大きく左右される、酷評されると1週間でクローズするような事態が生じ劇評家と制作側は時に敵対すると見なされるが、芸術文化の発展にとり歴史的に重要な関係

□ トニー賞が果たす役割

舞台芸術への女性ならびに有色人種の進出と機会均等を促す(出典 2024.4 The Tony Award)

舞台従事者へは劇評の高評価とトニー賞によるチケットの売れ行き、ロングランにより製作費用の回収と莫大な収益を生み出す（制作者にはユダヤ系商人が多い）

社会大衆へ舞台芸術からのメッセージにより人権、政治問題の啓発と高揚に貢献

□ ほかの賞レース

ピューリツァー賞、アカデミー賞、グラミー賞、エミー賞、ゴールデン・グローブ賞、オビー賞、ケネディセンター・オナー、ロックンロール・ホール・オブ・フェイム(以上アメリカ)、ローレンス・オリビエ賞(イギリス)、百想芸術大賞(韓国)、ほか

菊田一夫演劇賞、紀伊国屋演劇賞、芸術選奨、宝塚歌劇団年度賞、文化庁芸術祭賞、毎日芸術賞、読売演劇大賞、ハヤカワ悲劇喜劇賞、ミュージカル出版社ベスト10、ほか（五十音順）

[再録] トニー賞あれこれ（ミュージカル部門）

- ✓ 最多受賞：The Producers (2001年) 12部門
- ✓ 最多ノミネート：Hamilton (2016年) 16部門
- ✓ 12部門でノミネートされるも受賞ゼロ：
Mean Girls (2018年)、The Scottsboro Boys (2011年)
- ✓ リバイバルでの最多受賞：South Pacific (2008年) 7部門
- ✓ リバイバルでの最多ノミネート：Kiss Me, Kate (2000年) 12部門
- ✓ 最多主演・助演賞：オードラ・マクドナルド 6回（演劇部門3回を含む）
- ✓ 最多作曲賞：スティーブン・ソンドハイム 8回
- ✓ 最多振付賞：ボブ・フォッシー 8回
- ✓ 全部門での最多受賞：ハロルド・プリンス（作品賞、制作、演出、特別賞）21回

出典 Musical Theatre for dummies, Broadway Musical Trivia Book

